レポートの書き方ガイド別冊　私の卒論体験記

理工学部　知能情報システムコース

Ⅰ．自己紹介

大学院工学研究科 知能情報システム工学コース１年の山村優介です。
図鑑や百科事典、ネットサーフィンでいろんな情報を得るのが好きだったため、情報推薦に関する研究をしています。

所属研究室：ヒューマンコンピュータインタラクション研究室

趣味　　：ゲームや映画、プログラミング、カラオケなど

２．卒論テーマ・タイトル・概要

卒論のタイトルは、「新聞アーカイブシステム KENBUN におけるユーザの興味傾向を利用した多様な記事への気づきを促す閲覧支援機構」です。

この研究のざっくりとした目的は、「ユーザの好みの情報しか提示しないのは考え方を狭めるので良くない」
→「でも、普段見ない情報は普通に提示しても見てもらえない」
→「そのような情報にも興味をもってもらえる提示方法にしたい！」
というものです。

そしてそのための機能を、私の所属している研究室で開発している新聞アーカイブシステム KENBUN に実装して、評価実験をしました。

卒論の分量は、約 21,000 字、A4 用紙 48 枚分でした。

３．完成までのスケジュール

時期	内容
3年生 10月	研究室配属（研究室ごとに課題があります）
3月	テーマを決定、実装に必要な技術を調べる
4年生 4月～ 7月	システム設計、実装に必要なデータを作成
8月～ 9月	学会準備、発表
10月	中間発表
11月～12月	実験用システムの実装
1月～ 2月	実験、卒論作成、最終発表

4．ポイント・感想・反省点

できることは早めにやっておくことをおススメします！私は３年の春休みの時点で構想を練ったり、必要となる技術について調べていたので、大きな躓きはなく卒論を完成させることができました。夏休みの間に学会に出られたのも、早い時期から進められてたからかなと思います。学会発表はとてもいい経験になるので、余力があればぜひ挑戦してみてください！

また、テーマ選択は実験や評価のしやすさなど、先々のことを考えながら行った方がいいと思います。私はそこが大変でした…

5．活用したツール、おすすめの資料

〇論文検索サイト

先行研究を調べるときや、アイデアを練るときに論文を読むことが多いです。

一つのサイトでは目当てのものが見つからないこともあるので、いくつも使って探してみましょう！

〇Google Drive

研究で作成したプログラムやデータ、実験結果など重要なものは必ずオンラインストレージにも保管しておきましょう！最低でも3か所でバックアップをとるのをおすすめします。

また、デスクトップアプリ版をダウンロードしておくとアクセスが簡単になります。

〇Google ドキュメント、スプレッドシートなど

オンライン上で使える Word、Excel みたいなサービスです。

リンクを送るだけで共有ができますし、1つのファイルを複数人同時に編集することも可能です。

6．後輩へのメッセージ

研究を上手く進めるコツは、問題を一人で抱え込みすぎないことです。研究の中で出てきた問題は自力で挑戦することも大事ですが、人からのアドバイスですんなりと解決する場合も多いです！先生や先輩の経験は伊達ではありません。1日考えてダメなら誰かに相談してみましょう。私の研究室では毎週報告会があり、先生や先輩からアドバイスを頂いていました。

卒業研究はほとんどの人にとって初めての研究活動になるので、不安を感じるかもしれませんが、中間・最終発表さえできれば単位はもらえます。ただ、せっかくやるなら楽しむ方が得なので、ぜひ積極的に取り組み充実した時間にしてもらえたらいいなと思います。大学院に進学する人は、就活で必要になるので気合い入れてやりましょう。